

○第1回地域協議会の各中学校区意見一覧【抜粋】

参考

	相生中学校区	川内中学校区
小学校	<p>○将来を見据えて、統合ということを目指して、より良い学校生活が送れるように、地域社会も協力していくという雰囲気で進めており、今回、川内小も一緒にどうかとなった。[議事録P.3上段]</p> <p>○ケース①はこれからのことを考えた場合、統合までの期間が十分にあり、じっくり検討できる案であると思う。ケース②は、統合までの期間も短く、理解を得るのは難しいという意見があった。[議事録P.3上段～中段]</p> <p>○相生地区としては、川内の皆さんのがこちらへ来ていただけるという結論が出た場合には、大歓迎です。大きな決断をして来ていただいたのだと受け止めたいと思う。[議事録P.5中段～下段]</p> <p>○川内の立場で考えたとき、自分の育った地域の学校がなくなるというのは、大きな決断であると思う。あとは、子供たちのことが最優先になれば良いと思う。[議事録P.6上段]</p>	<p>○現時点では、ケース①とケース②のどちらも選択していないという状況である。[議事録P.3下段]</p> <p>○相生小を(統合後の)校舎として使用する方が、地理的には中心ということもあり、自然ということは重々納得しているが、どうしても川内という教育環境を見捨てられないというのが正直なところです。[議事録P.3下段]</p> <p>○駐車場の問題があると感じている。川内も非常に広い地域なので、相生小まで車で行くこともあるし、スクールバスも改善していかないと厳しいと思う。[議事録P.3下段]</p> <p>○川内に小学校が無くなったときに、川内地区の保育園に預けるのが厳しくなるという意見もあった。[議事録P.3下段]</p> <p>○小学校のPTA会長という立場として、全保護者に対してアンケートをとっている。結果は第6回検討委員会で委員に報告し、次回の地域協議会で報告させていただく予定です。[議事録P.5上段～中段]</p> <p>○子供たちにとって、大人数で勉強するのが良いのか、川内の環境の方が良いのか、整理はついていないが、この会議にはフラットな状態で参加させていただいており、相生中学校区の考え方や意見を参考にさせていただき、検討委員会で協議し、判断したいと思う。[議事録P.5中段]</p>
中学校	<p>○相生と川内の小学校が全く別々に6年間過ごした後に、中学校で統合して一緒になったときに、川内と相生の子供たちの人数が違う状態で、中学の3年間、お互いに良く知らない環境になる。中学校は受験もあり、精神的ストレスが出る懸念がある。それならば、小学生のうちから一緒に過ごす方が、9年間一緒に過ごせるので、友達も沢山できる環境が整えられるのかなどは思っている。[議事録P.6中段]</p>	<p>○部活動のことや体育祭、合唱コンクール、勉強面でも、専門の先生がいる必要があることを考えると、統合も考えなくてはいけない時期であるように思う。桐生市全体の問題だが、子供の数が減っていることを考えると、統合も仕方ないと思っている。[議事録P.5下段]</p> <p>○いわゆる中1ギャップというものがある。どこまで今の子どもたちが対応できるのか。自分たちの時代にもあったと記憶しており、そういうことも含めて検討委員会で協議したいと思っている。[議事録P.6中段～下段]</p>
その他	<p>○小学校と中学校が場合によっては、別々の時期に(統合が)動いていくこともある。在校生だけでなく、これから入ってくる新入生、あるいは地域社会の関係者など、いろいろな人が関与しているので、一緒の時期の統合が良いと思う。その点については、教育委員会の方で、統合時期を改めて考えていただきたいと思う。[議事録P.6下段]</p> <p>【地域協議会長】</p> <p>○それぞれの中学校区に事情や背景があり、地域のこと、学校のこと、児童生徒のことを考えた結果、合意点を見出すことが難しい事項もあると思う。しかしながら、本会議の本旨である、子どもたちにとってより良い教育活動を実現するという目的の達成のため、一定の方向性を決めていく必要があると考えている。[議事録P.4下段]</p> <p>○例えば、この部分はどうしても譲れないけれども、この部分は検討して譲歩できるかもしれない、そういう部分を考えていただければと思う。各中学校区にとって、お互いの着地点を見出していければと思う。[議事録P.5上段]</p>	